

是金於新潟所一帶地再在株式會社製作  
所一處大金一千二百萬圓、社長岩原謙二、腳工  
二千五百名、内女工二百三名、使営便氣機械器  
具、製造、葉上及九が不良分子一掃、意味、以テ  
黒川幸太郎、大川平三、遠藤一郎、村田喜二郎、  
露木藤吉、新聞紙外十二名、計八日自山完二  
宛テ速達郵便、以テ會社規定、依ル退職慰勞  
金及豫告手書十四日分ヲ支給シテ解雇又以テ  
開告書ヲ差送シテ、右會社脚工中約二千二  
百名、是漸勞働組合、組織し殊ニ今回誠首次  
シタル向前提託名、就之組合幹部十九名以テ通  
知書ヲ撰呈シタル為、即日寄一協議ヲ發し尤様  
移ニシテ、昨日正午依懇時間ヲ利用シ、二場共座場  
二出焉者總數二千六十五名中、總六百名、交渉組合  
幹部、金田吉政、又今や會社、鷹見二分二場、  
是シ称又ノ增員中ナルニ不均同僚十八名、此其  
解雇シタル、而因奈邊ニアルヤ解雇ニ若シム起ニテ、  
ニ其理由ヲ孔シ復辟ノ事永ヲ為シトスト報告ヲ  
アリテ交渉委員トシキ金田吉政組合角二郎、外  
ラ選定直ナニ向藤工人課長、鷹見文治、又ハ  
社側の事務、都合ニ致リ解雇ナルモノ付復  
ベント皆知ナルテ以テ會見ヲ織シ十日間後、  
一方同解2、即知ヨリ急難ヲ始メ2場内ニ於テ不満